

【世界理解月間】

世界理解と平和の日（2 月 23 日）//ロータリー創立記念日

今月は、世界理解と平和の日、特に 2 月 23 日がロータリーの創立記念日に当たりますので、創立記念日関連の話をさせていただきます。

1904 年の初めごろからポール P・ハリスは、数人の友人に交友と相互扶助のクラブ構想を打診していたが、1905 年 2 月 23 日（木曜日）の晩、ポール・ハリス（弁護士）、シルベスター・シール（石炭商）、ガスターバス E・ローア（鉱山技師）、ハイラム・ショーレー（仕立て屋）の 4 名がシカゴ市北ディアボン街 127 のユニティビル 7 階 711 号室のローアの事務所で寛容と友情を求めて、初会合を開いたのがロータリーの始まりと言われ、毎年 2 月 23 日を創立記念日と定めています。

また、毎年 2 月 23 日に始まる 1 週間を「世界理解と平和週間」と呼称し、各クラブは世界理解と友情と平和へのプログラムを行うことになっている。

なお、ロータリーでの、特別週間は次の幾つかが設けられていますのでご紹介いたします。

●追悼記念週間

毎年 1 月 27 日（ポール・ハリスの命日）を含む日曜から土曜日までの 1 週間を物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念することになっている。

●世界理解と平和週間（今週です）

毎年 2 月 23 日に始まる 1 週間。各クラブは特に国際理解と親善と平和のためのプログラムを強調することになっている。

●世界ローターアクト週間

毎年 3 月 13 日を「世界ローターアクトの日」と定め、3 月 13 日を含む 1 週間（曜日は各国の実情に合わせて）と指定された。

●世界インターアクト週間

毎年 11 月 5 日を含む 1 週間を「世界インターアクト週間」と指定された。
その他といたしまして！

△家族週間

元々は、毎年 2 月の第 2 週（月曜から日曜まで）の家族週間が有りましたが廃止（2003 年 7 月理事会）されましたが、同年 2003-4 年度 RI 会長が、家族の重要性を強調し、12 月を家族月間に指定した。

これらに伴って、当クラブも 12 月に「年末家族例会」を開催しているところでも御座います。

もう一つは、

△「家族集会」がご座います。

新会員の同化、及び会員間の親睦と情報交換、そしてロータリーを推進するために自由討論する会合のこと。家族との理解と親睦を深めるためにも推奨されているプログラムです。特別会合の一つで1989年まで「炉辺（ろばた）会合」（ファイヤ・サイド・ミーティング）の名で親しまれてきたが、1990年より「家族集会」と改称された。

この様にロータリーでは、様々な分野で～週間、～集会が有ります。

また、「ロータリーと言う名称」ですが、創立当初の頃は、クラブの会合が会員の事務所で輪番（ローテーション）制により開かれていたことから、この名称がつけられたと言われていています。

そして、最後ですが「ロータリーの公式の歌」があります。1999年11月理事会で、ベートーベン作曲のマーチ編曲（Egmont 序曲）がロータリー公式の歌と決定されました。他にも公式の歌では有りませんが「ロータリー歌集」に沢山の歌が載っています。

これらの歌集は、歌うことが習慣となっていて多くのクラブで使われています。なお、例会で歌う習慣は1905年頃シカゴ・クラブの印刷業ハリー・ラルグスが、親睦が壊れてきたクラブに和やかさと友愛をとり戻すために提唱し、著しい効果があったことから始まり、今日まで続いております。

また、日本で愛唱されている「奉仕の理想」「我らの生業」は、1935年3月入選、5月京都の地区大会で2曲共発表されました。

その後、「手に手つないで」1952年入選、4月大阪の地区大会で発表され、「どこで会っても」は、1953年作詞、作曲されました。

当クラブでも、第1週の国家斉唱に始まりロータリーソング、四季の歌と共に夜間例会終了時に及ぶまで唱和しておる所でご座います。

今後共、ご理解を賜り声高らかにご唱和下さいます様お願い申し上げます。

それでは、本日も、どこで会ってもヤアと言えるような和やかな雰囲気でもロータリーライフをお楽しみ下さいます様祈念し会長の時間といたします。